

令和7年度 糸魚川売れる米づくりコシヒカリ生育情報 No. 5

令和7年7月10日
糸魚川農業普及指導センター

1 7月10日現在のコシヒカリの生育状況（指標値との比較）

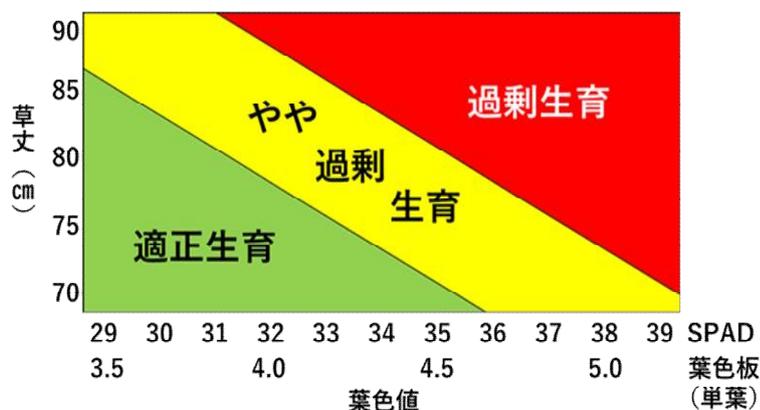
田植日・調査ほ場	草丈	莖数	葉数	葉色
田植日 5月2～23日 東海、西川原、東中、榎	並	少～やや少	やや早	淡～やや淡

- 草丈は並ですが、一部ではやや長めのほ場も見受けられます。
- 生育にはほ場間差があり、**特に葉色が淡いほ場が見受けられます。**
- 現時点では、平坦地の5月10日頃の田植えのコシヒカリの出穂期は7月31日頃と予想されます。

2 今後の管理について

- コシヒカリは幼穂形成期を迎えました。1回目の穂肥は幼穂の長さを確認して時期を判断し、**遅れずに施用**しましょう。

コシヒカリ1回目穂肥時期のめやす：出穂18日前（幼穂長1cm）
（莖数が少ない、特に葉色が淡いほ場では出穂20日前頃に早める）



< 1回目の穂肥のめやす >

生育区分	施用時期	施用窒素量
適正生育	出穂18日前	1 kg/10a
やや過剰生育	出穂15日前	
過剰生育	1回目施用しない	

（施用時に特に葉色が淡い場合は1.5kg/10a）

図 幼穂形成期頃の生育状況判断のめやす

- 元肥ロング肥料でも、既に葉色がかなり低下している場合は追肥を検討しましょう。
- 施用後は飽水管理を継続し、葉色の低下を防ぎましょう。

3 7月10日のコシヒカリ生育調査結果

調査項目		ほ場場所 (田植日)	指標値 ※	東海 (5月2日)	西川原 (5月4日)	東中 (5月23日)	榎 (5月15日)
草丈	本年値 (cm)		69	72	72	62	69
	平年比 (%)			106	113	101	109
	指標比 (%)			104	104	90	100
莖数	莖数 (本/m ²) (一株当たり(本))		460	383 (20.8)	380 (21.7)	455 (24.6)	348 (18.4)
	平年比 (%)			77	84	90	75
	指標比 (%)			83	83	99	76
葉数	本年値 (葉)		11.0	11.8	12.2	10.6	11.0
	平年差 (葉)			+0.3	+0.9	-0.1	+0.1
	指標差 (葉)			+0.8	+1.2	-0.4	±0
葉色	本年値 (SPAD値)		35.5	28.7	30.0	37.8	32.2
	平年差 (SPAD値)			-4.0	-4.8	+0.1	-3.8
	指標差 (SPAD値)			-6.8	-5.5	+2.3	-3.3

※平年比・差とは、各調査ほごとの過去10年平均の生育値に対する現在の生育値の割合・差
 ※指標比・差とは、目標とする理想的な生育値（指標値）に対する現在の生育値の割合・差
 次回の情報提供は7月17日頃の予定です。